



令和元年度 水稻生育診断情報 No.1

(令和元年 6月 10日)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター
近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

(次回は 6/27 頃の予定)

現在の生育状況

◎ 5月上旬の気温がやや低く、強風による植え傷みもあり、初期の分けつはやや遅れたが、5月中旬～6月上旬の高温により、生育は旺盛になっている。

管理のポイント

- ◎ 急速に生育が進んでいることから、茎数の増加に注意し、「中干し」が遅れないようにする。
- ◎ 目標穂数の8割の茎数が確保できたほ場では、速やかに溝切り・中干しを実施する！

1 気象の経過と予報

(1) 気象の経過 (彦根気象台観測、平年は過去10年間の平均)

期間	要素	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
4月	下旬	やや低い	高い	かなり少ない	平年並
5月	月上旬	平年並	低い	かなり多い	やや少ない
	月中旬	かなり高い	かなり高い	多い	かなり少ない
	月下旬	高い	やや低い	かなり多い	やや多い

(2) 近畿地方1か月予報 (大阪管区気象台6月6日発表)

- 向こう1か月は平年に比べ曇りや雨の日が少ない。
- 週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%。
2週目は、高い確率50%。

2 生育状況【農業技術振興センター水稻作況調査による。表1および後掲グラフ参照。】

(1) 移植期 (4月19日播種、5月10日移植)

- 移植時の苗丈は長く、乾物重の大きい苗であった。
- 移植時の葉数は「みずかがみ」が0.3枚、「コシヒカリ」が0.1枚少なかった。

(2) 生育初期 (5月31日時点)

- 移植後は気温が高く経過したことから、活着は良好であった。
- 草丈は、両品種ともに平年より長かった。
- 茎数は、両品種ともに平年より少なかった。
- 葉数について、「みずかがみ」は0.2枚少なく、「コシヒカリ」は0.1枚多かった。

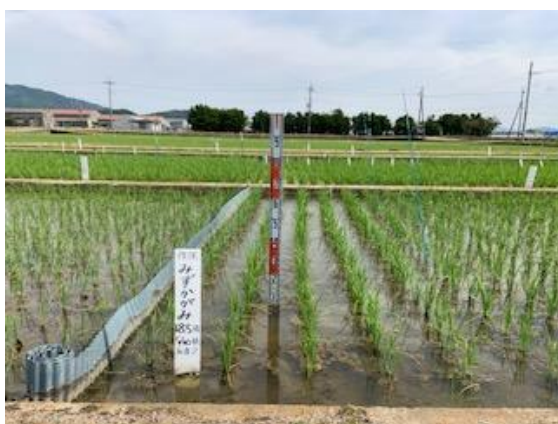
表1 令和元年(2019年)水稲作況調査 生育調査結果

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

基準日 月/日	品種名	草丈(cm)				茎数(本/m ²)				主稈葉数(枚)			
		本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	較差	前年
5/31	みずかがみ	29.3	23.8	123	22.1	164	174	95	118	5.9	6.1	-0.2	6.1
	コシヒカリ	28.8	24.6	117	22.9	147	160	91	131	5.8	5.7	0.1	5.3

※移植日:5月10日(播種日:4月19日)、栽植密度:18.5株/m²、植付本数:3本/株

※平年は、H25~30年(6年間)の平均値。



6月4日時点の「みずかがみ」
茎数 164 本/m²(8.9 本/株)



6月4日時点の「コシヒカリ」
茎数 147 本/m²(8.0 本/株)

3 今後の管理

(1) 水管理(溝切り・中干し)

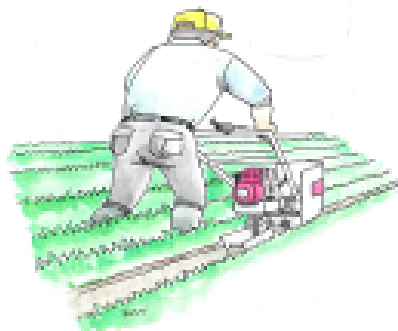
- 目標穂数の8割の茎数が確保できれば、遅れずに溝切り・中干しを行う。
- 中干しの際は、強制落水は行わず、自然減水とする。
- 還元障害が見られるほ場では、軽く干して、根の生育を助ける水管理を行う。

中干し開始の茎数と時期の目安

【茎数】	栽植密度		【時期】	移植時期	
	(株/坪)	1株あたり 茎数(注)		移植時期	中干しの 目安時期
	70	14~15本	(注) 目標穂数380~400本/m ² とした場合に、その8割の茎数 (300~320本/m ²)に相当する 1株あたりの茎数	5月上旬	6月5日頃
	60	17~18本		5月中旬	6月10日頃
	50	20~21本		5月下旬	6月20日頃

溝切りの目的

- ① 中干しの効果を高める。
- ② 中干し後の水管理を行いやすくする。
- ③ 収穫期に短時間で落水しやすくする。



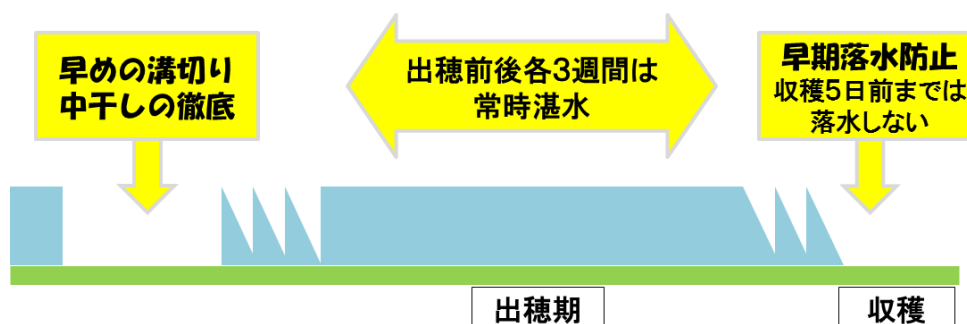
中干しの目的

- ① 無効分げつを抑制し、過繁茂を防ぐ。
- ② 土壌中に酸素を供給し、根の伸張を促す。
- ③ 田面を硬くすることで、収穫直前まで入水できるようにする。



茎数 18 本/株

これが中干し開始時期の株張り程度（坪 60 株植）



(2) 追肥

① 側条施肥田植および緩効性肥料栽培体系の場合

- 側条施肥田植および緩効性肥料栽培で、基肥に追肥分を含めて施用している場合は、茎数が少なくても追肥の必要はない。

② 速効性肥料の基肥+追肥体系の場合

- 本年は幼穂形成期が早まることも予想されるため、追肥施用が遅れないよう注意する。
- 中山間地帯や地力が低い生育不良田では、下表より3～4日早めに施用する。
- 追肥施用に際しては浅水で行い、施用後少なくとも5日間は田面水を流さず、水田からの窒素やリン酸の流出を抑える。

平年の追肥施用時期（5月中旬までの移植）

品 種	追肥施用時期
極早生・早生品種	6月10日頃
中生・晩生品種	6月20～30日

注) 「みずかがみ」は、6月上旬の追肥を施用せず穂肥で対応する。

(3) 病害虫防除

6月4日発表の「病害虫発生予報第4号」(<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/yosatsu/yosatsuzyouhou/yohou/304711.html>) を参照

葉いもち（6月4日発表の「病害虫発生予報第4号」より引用）

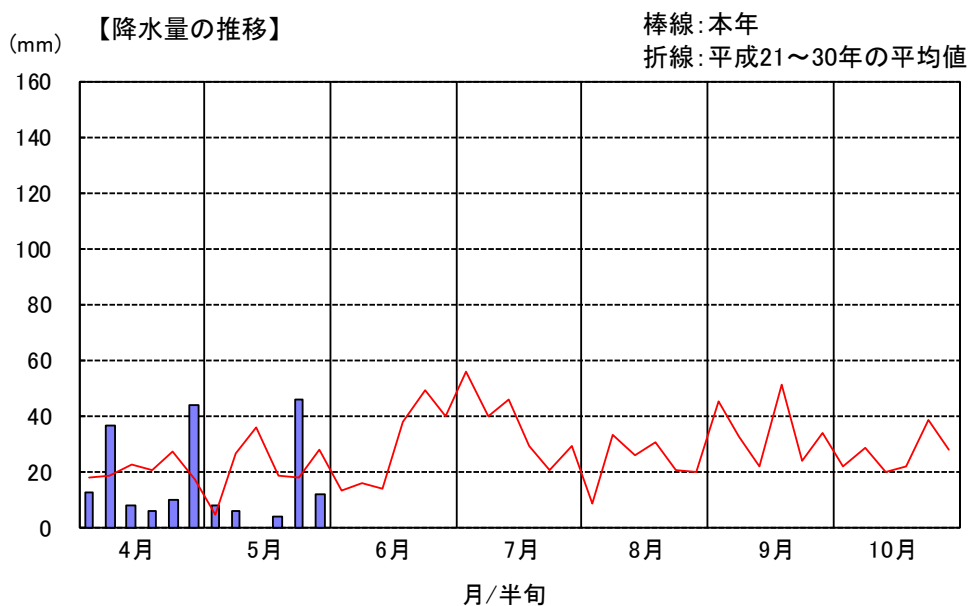
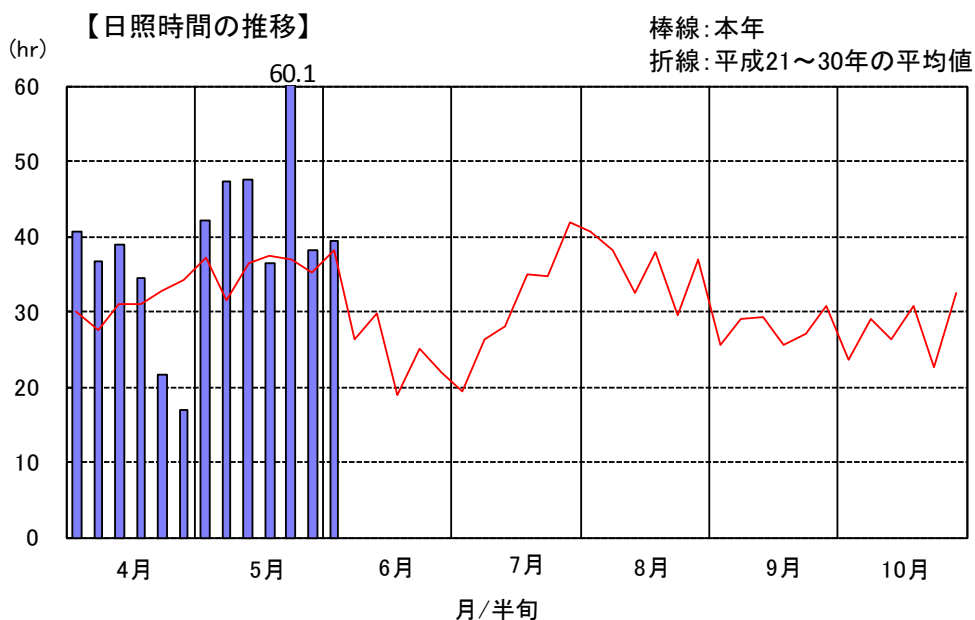
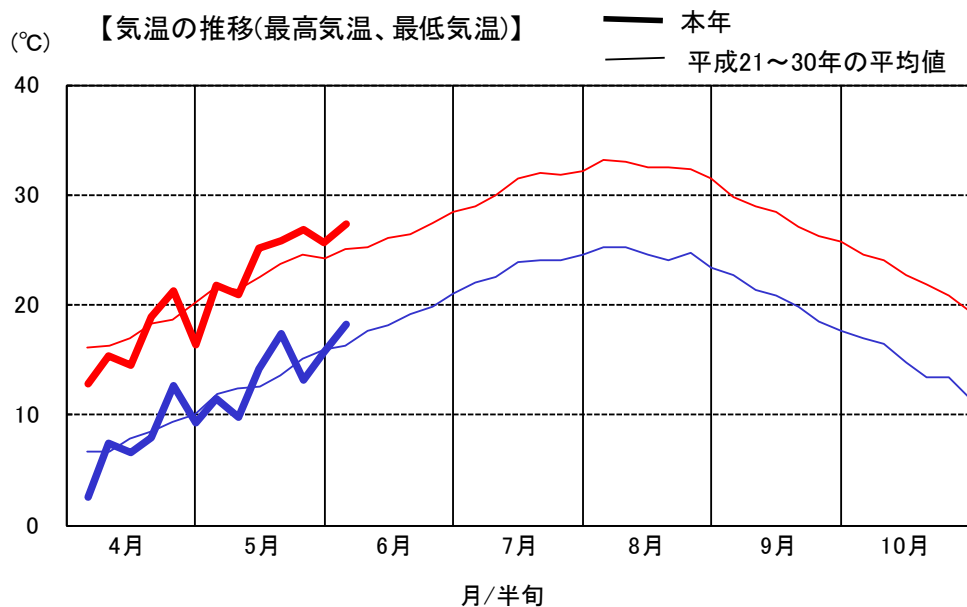
発生時期：平年並、発生量：平年並

- ①余剰苗は直ちに除去する。
- ②移植栽培では、いもち病に有効な長期持続型の薬剤を育苗箱に施用、または移植時に側条施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。
- ③直は栽培では、いもち病に有効な長期持続型の薬剤を、は種同時施薬機を用いて土中施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。
- ④多肥田や晩植田、「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「秋の詩」「滋賀羽二重糯」では特に注意する。
- ⑤ほ場をよく見回り、発生を認めたら薬剤を散布する。
- ⑥耐性菌を生じやすいので、穂いもちの防除も考慮して同一グループ薬剤の連用を避ける。

【参考サイト】

農業技術振興センター	https://www.pref.shiga.lg.jp/nougi-center/
病害虫防除所	https://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/
彦根地方气象台	https://www.jma-net.go.jp/hikone/
異常天候早期警戒情報	https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/?reg_no=0

令和元年(2019年) 水稻作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)



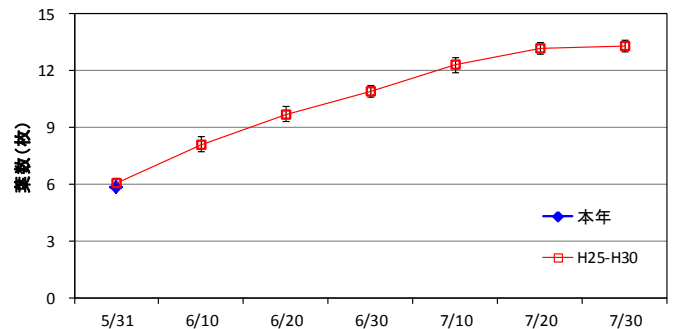
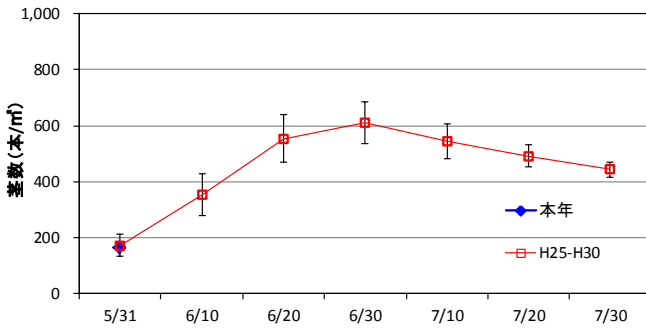
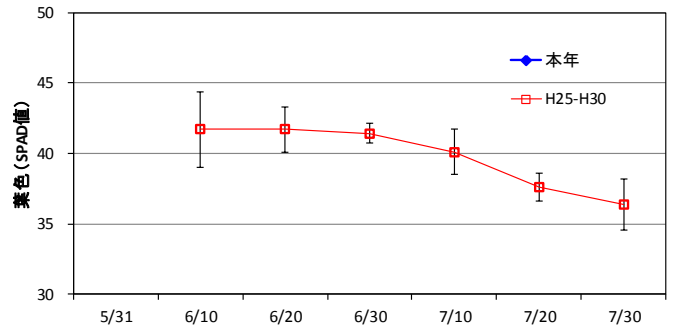
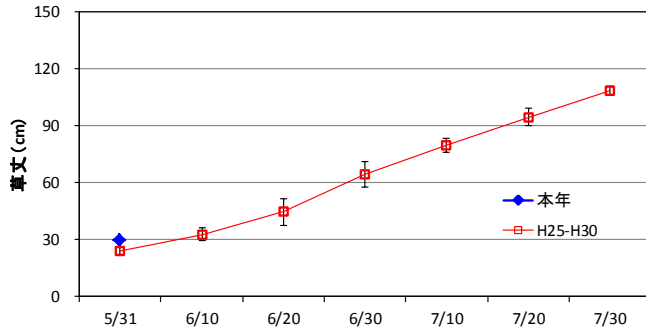
注) 平年は平成21~30年の平均値. 5月,7月,8月,10月の第6半旬の降水量および日照時間は6日間の合計値.

令和元年(2019年) 水稲作況調査 生育調査結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

【みずかがみ】

播種:4月19日、移植:5月10日、栽植密度:18.5株/m²、植付本数:3本/株



【コシヒカリ】

播種:4月19日、移植:5月10日、栽植密度:18.5株/m²、植付本数:3本/株

